

中央家保便り

令和6年7月発行
沖縄県中央家畜保健衛生所
南城市大里字大里2085
TEL (098) 945-2297
FAX (098) 945-3467

家畜の生産性を維持・向上する 暑熱対策に取り組みましょう！

今年も暑い夏がやってきました。暑熱により、家畜の採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、生産性が損なわれることを防ぐ為には、家畜が健康で快適に過ごせる環境づくりが大切です。

畜舎環境面から

☆畜舎外から畜舎温度を下げる

- ・樹木や遮光ネット等の設置
- ・屋根・壁・床への断熱材の設置、塗布

☆畜舎内から畜舎温度を下げる

- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風・散水



飼養管理面から

☆密飼いを避けて、体感温度とイライラの低減

☆飼料給与等の工夫

- ・冷たい水が十分に飲めるようにする
- ・涼しい時間帯に飼料給与するとともに、給与回数を増やす
- ・良質で消化率の高い飼料を与える
- ・必要に応じ、ビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う



対策を組み合わせると効果的。
早めの措置で、暑い夏を乗り切りましょう☀

家畜だけではなく、
人も熱中症に要注意!!!

夏の屋外での作業で 心がけること

- 1, 日中の気温の高い時間帯を外して作業する
- 2, 作業前・作業中には、こまめに水分補給と休憩を!
- 3, 熱中症予防グッズを活用
- 4, 単独作業を避ける
- 5, 高温多湿の環境を避ける



(1) 暑い環境で体調不良の症状が見られたら、
すぐに作業を中断!

- ・意識障害 ・めまい ・吐き気 ・体が熱い
- ・汗をかかない ・まっすぐに歩けない



(2) 作業中断後、応急処置を行う!

- ・涼しい場所へ避難 ・服をゆるめ、風通しをよくする
- ・水をかけたり扇いだりして体を冷やす
- ・水分、塩分を補給



(3) こんな場合は、病院へ! 助けを求める!

- ・意識がない ・自力で水が飲めない
- ・応急措置を行っても症状が改善しない

